

ローダウン車両に起因する火災

火災概要

信号待ちの軽自動車エンジン付近から、白い煙が出ていたのを発見した運転手が、車外へ出て確認すると、軽自動車エンジン底面と道路の間にダンボールが挟まり、そのダンボールから白い煙が出ていたので、手でダンボールを除去しようとしたのですが、完全には除去できずに軽自動車をバックさせて取り除いたものです。

なお、この火災により軽自動車の一部焼損しました。



灰化したダンボール

原因概要

走行中の軽自動車が道路上に落ちていたダンボールを引きずったまま走行したために、高温になっていた軽自動車のエキゾーストパイプ（排気管）に接触したために出火したものです。

なお、通常の軽自動車の車高は、フロントバンパー部と地面との間隔が約 20 cm ありますが、事故車両は車高がフロントバンパー部と地面との間隔が約 7 cm でした。軽自動車をローダウンしたことで物が挟まりやすい状況になっていたものです。



類似火災の防止対策

本件火災のように、エンジンムール底部と道路の間にダンボールが挟まり、エキゾーストパイプ（排気管）の熱が原因で出火する事例は、極めて稀なケースですが、車両構造上、エキゾーストパイプ（排気管）は、走行中にかなり高温になりますので可燃物が接触し出火する可能性は十分にありますので注意しましょう。

エキゾーストマニホールド（排気管）付近の温度

	アイドリング	高速走行	渋滞走行
エキゾーストマニホールド（排気管）出口	338℃	690℃	446℃
エキゾーストパイプ（排気管）	145℃	225℃	159℃

火災を防ぐポイントは・・・

- (1) 車両を改造し車高を落とすすぎないようにしましょう。（法規制では車高 9 cm 以上あること）
- (2) 運行前には、車両エンジン内部にウエスやゴミ等が入り込んでいないかチェックしましょう。
- (3) 走行中に異音や異臭、衝撃を感じたら、車両を停車させましょう。
- (4) 車両走行中、停車中にかかわらず、車両に煙や炎を発見した場合は、まず同乗者全員を避難させてから 119 番通報しましょう。

・・・**火災が発生した場合は、直ぐに消防(119)へ通報してください。**・・・